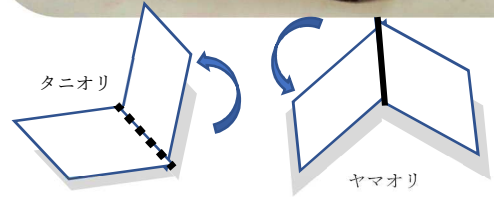


森の生物ペーパークラフト

- ① 「外側の線」にそって切ります
- ② 切りおったら「……はタニオリ」「——はヤマオリ」線のとおりに、おります
- ③ 背中をまるめ、かおを少しタテにおり、しっぽの付け根をおる

みわけられるかな？

\*この3匹は森の中でみわけるのがむずかしいよ\*



タヌキ (ネコ目 イヌ科)

郊外の街から山の中までひろい範囲に生息。

そのため、目にする事が多く日本人になじみの動物。

農作物被害もだすため、むかし話ではよくワルモノにされがち…

鳥や昆虫、木の実けっこう何でも食べる。

みわけポイント：腕から背中にかけてのもようが特徴。全体的に色が濃い。



アナグマ (ネコ目 イタチ科)

おもに森の中に住んでいて、名前のおりアナを掘って巣穴にする。

穴を掘りやすくするため長い爪を持っている。穴の中で生活するため手足が短い。

昔の人はタヌキとアナグマをくべつせず「ムジナ」と両方ともよんでいた。

鳥や昆虫、木の実けっこう何でも食べる。

みわけポイント：タヌキに比べて白っぽく、顔つきは細い。しっぽが短い。

アライグマ **特定外来生物 (外来生物法)** (ネコ目 アライグマ科)

もともと、日本にはいなかった生物。北アメリカ出身。

エサなどを洗うしぐさからこの名前がついた。

また、そのしぐさがカワイイとペットとして大人気に…しかし、逃げ出して

自然の中でふえはじめてしまった。指が長くとても器用で鳥の巣から卵をとったり、

タヌキなどの住みかやエサをうばってしまう。

もともと日本にいた生物への影響がすごく強い。その器用さから農作物被害も大きい。

みわけポイント：しっぽのしましま、全体的に灰色、タヌキやアナグマに比べてスリムボディ。木にのぼる。

